



発行所 秋田魁新報社
秋田市山王臨海町1番1号
〒010-8601
©秋田魁新報社 2015年

号外

購読申し込み

0120-13-1231

ホームページ

www.sakigake.jp

携帯サイト

m.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報」朝刊、当社ホームページをご覧ください。

日韓「慰安婦」で合意



会談を前に韓国の尹炳世外相（右）と握手する岸田外相＝28日、ソウルの韓国外務省

両外相 首相がおわび、基金創設 発表

【ソウル共同】岸田文雄外相と韓国の尹炳世外相は28日午後、ソウルで会談後の記者発表で、従軍慰安婦問題の決着で

合意したと明らかにした。岸田氏は「軍の関与で多数の女性の名誉を傷つけ、日本の責任を痛感している」として、安倍

晋三首相が「心からのおわびと反省」を表明すると述べた。元慰安婦への支援として、韓国政府が財団を設立。日本政府が10億円を拠出し、両政府が協力して事業を行うとした。

日韓間における最大の懸案の一つである慰安婦問題が、国交正常化50年の今年中に決着で合意したこと、関係改善の流れは本格化する。慰安婦問題をめぐっては、日本は1965年の日韓請求権

協定で解決済みとの立場なのに対し、韓国側は協定の対象外で、国家による法的責任の明確化と賠償を要求してきた。外相会談で、日本として法的責任は認めないものの、首相が元慰安婦におわびと反省を表明することになった。

慰安婦問題は首相と朴槿恵大統領が11月2日、ソウルで会談し、「早期妥結」を目指すことで一致。日本側でも年内決着の機運が高まった。